積算

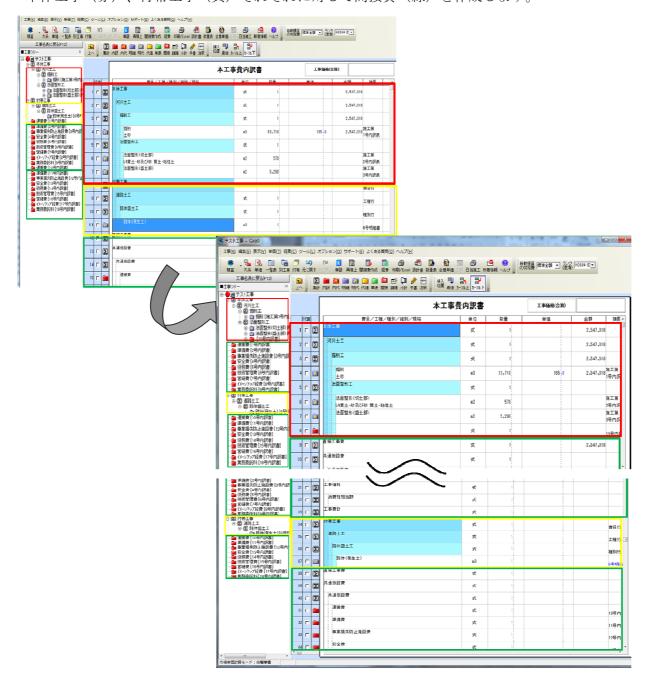
(間接費追加)

直接工事費の間に間接費の行を追加したい

作成済みの直接工事費の間に、間接費の行を追加する手順です。

下記のように工事を作りかえる手順を説明します。

本体工事(赤)、付帯工事(黄)、間接費(緑)と並んでいますが、 本体工事(赤)、付帯工事(黄)それぞれに対して間接費(緑)を作成します。



① 設計書取り込みではない場合

※設計書取り込みの場合は、6ページをご覧ください。

1. 表にまとめる

付帯工事(黄)を間接費の下に 移動するために、

付帯工事(黄)を1つの表にまとめます。 付帯工事2(黄)を青く選択します。 (キーボードの[Shiftキー]を 押しながら、

工区のはじめと終わりを選択すると、 一括で選択可能です。



右クリックメニューの表作成・内訳書にまとめる(1)を選択します。



付帯工事(黄)が1つの内訳書の中に入ります。 例として、内訳書の名称を付帯工事と入力します。

			本工事費	内訳書	
ł	付箋		費目/工種/種別/細別/規格	単位	数量
3		Σ	握削工	犬	1
4			握削 土砂	m3	13,710
5		Σ	法面整形工	犬	1
6		·	法面整形(切土部) ・	m2	570
7			法面整形(盛土部)	m2	5,290
8	П		付帯工事	犬	1
9		Σ	直 液上事費	式	1
10		Σ	共通仮設費	犬	1
11		Σ	共通仮設費	式	1

2. 工事を移動する

手順1で、内訳書にまとめた付帯工事のフォルダを、間接費行の下に移動します。 行番号欄をクリックしたまま離さずに、工事費計の下までマウスを移動し、クリックを離しま す。



3. 間接費を追加する



ボタンをクリックし、付帯工事の下に間接費を作成します。

「間接費の選択」画面が表示されます。

「経費区分選択」欄(四角赤枠)にて、作成する経費区分を選択します。

左下「合算経費にする」(丸緑枠)を選択します。

右下 [OK] (丸赤枠) をクリックすると、間接費を作成して「本工事費内訳書」 画面に戻ります。

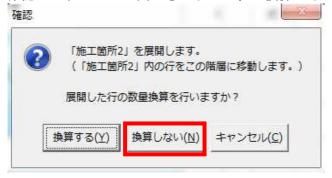


4. 表の展開

表にまとめた付帯工事のフォルダを、右クリック-表の展開を選択し、展開します。



確認のメッセージが出てきますので、「換算しない」を選択します。



5. 経費計算を行う

※直接工事費と、共通仮設費の積上げが終わった状態で、経費計算に進んでください。

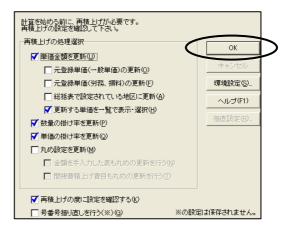
「本工事費内訳書」画面にて
[経費] メニューの [経費計算] またはツールバーの 経費 を
クリックします。

ール(L) オプション(Q) サポート(S) よくある質問(Q) ヘルプ(H)

・ル(L) オプション(D) サポート(S) よくある質問(Q) ヘルプ(H)

・エート(S) よくある質問(Q) ヘルプ(H)

「再積上げの処理選択」画面が表示されますので、設定内容を確認し[OK]をクリックします。



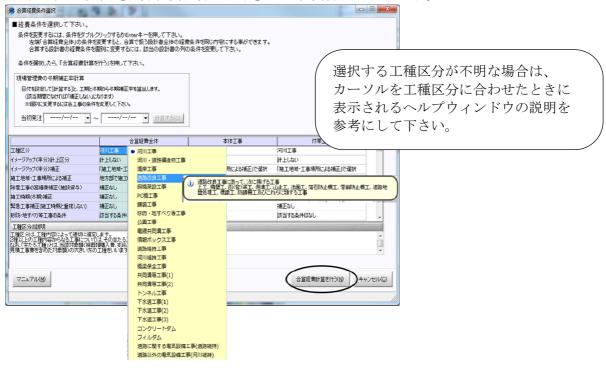
6. 経費条件を選択する

「条件の選択」画面が表示されます。経費の条件選択を行い、合算経費計算を行います。

①の「合算経費全体」の条件を変更すると各設計書の条件も連動します。

各設計書ごとに、個別に設定することもできますが、その場合も、「合算経費全体」の条件も 選択を行って下さい。

条件設定完了後、[合算経費計算を行う]より経費算出を行います。



7. 経費一覧の確認

経費率(共通仮設費率・現場管理費率等) 経費金額がそれぞれ自動計算され、 「経費一覧」画面が表示されます。

経費内容を確認し



をクリックします。



直接工事費が変更された場合は、ツールバーの



をクリックすると、経費を更新

ことができ、経費の条件や工種区分を変更したい場合等は、 経費の「補正内容」が再選択できます。



をクリックすると、

経費が決定され、「本工事費内訳書」画面が表示されて経費計算を終了します。

② 設計書取り込みの場合

※設計書取込ではない場合は、2ページをご覧ください。

1. 工事をまとめる

付帯工事(黄)を間接費の下に 移動するために、

付帯工事 (黄) を1つの表にまとめます。 付帯工事 (黄) を青く選択します。

(キーボードの [Shiftキー] を 押しながら、

工区のはじめと終わりを選択すると、 一括で選択可能です。

		本	ě				
付箋		費目/工種/種別/細別/規格	数量	単位	単価	金額	摘要
6 🗖 [Σ	盛土工	1	式			
7 🗖 [î (路体(築堤)盛土 2.5n未満	310	m3			施工第 2号内訳表
8 🗖 [土砂等運搬 土砂(岩塊・玉石混 り土含む)	330	m3			施工第 3号内訳表
9 🗆 [ÎV.	積込(ルース゚) 土砂 土量50,000m 3未満	330	m3			施工第 4号内訳表
10 🗆 [Σ	付帯工事					費目行
11 🗆 [Σ	法覆護岸工					
12 🗆 [Σ	作業土工					
13 🗖 [床掘り 1 土砂					第 1号内訳表
14 🗆 [床掘り 2 土砂					第 2号内訳表
15 🗖 [埋戻し 土砂					第 3号内訳表
16 🖂 [埋戻し 土砂	1	式			第 4号内訳表
17 🗆 [Σ	直接工事費	1	式			
18 🖂 [Σ	共通仮設費	1	式			
19 🗆 [Σ	共通仮設費	1	式			
20 🖂 [Σ	運搬費	1	式			

右クリック・表作成・内訳書にまとめる(1)を選択します。

		本工事費内記	書	直	接工事費		
付箋	費目/工種/種別/細別/規格	数量	単位	単価	金額	摘要	
8 厂 🔽 盛土	Ľ	1	式				
	本(築堤)盛土 im未満	310	m3			施工第 2号内訳表	
8 F 🙀 ±2	少等運搬 単価(<u>K</u>) ▶	330	m3			施工第 3号内訳表	
9 🗆 🙉	工程(<u>S</u>) 精算大系(L)	330	m3			施工第 4号内訳表	
□ □ □ 付帯.	表作成(出)	内訳書(<u>U</u>)				費目行	
2 □ ∑	行作成(G)コード入力(E)Ctrl+F単価コード検索(Q)Ctrl+H工種コード検索(W)Ctrl+M	内訳代価(<u>W</u>) 明細書(<u>M</u>) 明細代価(<u>R</u>) 代価表(<u>D</u>)					
3 🗆 📻 🙀	切り取り(I)	単価表(土)				第 1号内訳表	
4 🗆 🗀	コピー(C) 貼り付け(P)	間接費表(K)				第2号内訳表	
5 🗖 🛅	削除(D)	明細書にまとめる(3	(2)			第 3号内訳表	
6 🗆 🧰	丸め(M) 請雑費行丸め(Z)	明細代価にまとめる	(<u>4</u>)			第 4号内訳表	
	元参照(X) 選択されている行を再実行(2)	代価表にまとめる(<u>5</u> 単価表にまとめる(<u>6</u>	8				
8 厂 区 共通	対象行設定(V)	1	式				

付帯工事(黄)が1つの内訳書の中に入ります。 例として、内訳書の名称を付帯工事と入力します。

			本工事費	内訳書	
	付箋		費目/工種/種別/細別/規格	単位	数量
3		Σ	握削工	式	1
4			提削 土砂	m3	13,710
5		Σ	法面整形工	犬	1
6			法面整形(切土部) - 4質土・砂及び砂 質土・粘性土	m2	570
7			法面整形(盛土部)	m2	5,290
8	П		付帯工事	发	1
9		Σ	直接上事 費	发	1
10		Σ	共通仮設費	大	1
11		Σ	共通仮設費	式	1

2. 間接費を削除する

設計書取込の場合、間接費の行を追加するには、間接費行を削除する必要があります。

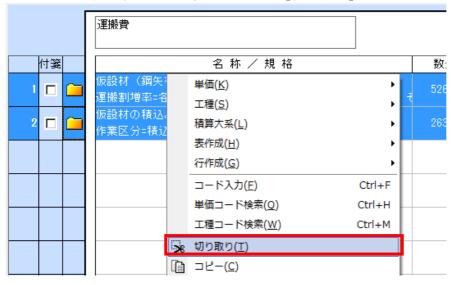
①【共通仮設費積上げ分がある場合のみ】

共通仮設費積上げ分のフォルダの中に積上げた表を移動します。

例として運搬費の積上げを移動します。

※積上げ項目ごとに操作が必要です。

- 1. 積上げが始まる行をクリック、 [Shift] キーを押しながら積上げの1番下の行をクリックし 運搬費の内訳をすべて選択します。
- 2. 選択された行を右クリック、メニューの[切り取り]をクリックします。



3. [上へ] で本工事費内訳書の画面に戻ります。

直接工事費の最後の行を右クリック、メニューの [貼り付け] をクリックして運搬費の内訳を直接工事費の一番下に貼り付けします

巴汝上尹〕			ム り 。		
14 🗆 🗀	床掘り 2 土砂 埋戻し 土砂		積算大系(<u>L</u>) 表作成(<u>H</u>) 行作成(<u>G</u>)	, ,	第 2号内訳表 第 3号内訳表
16	埋戻し		コード入力(<u>F</u>) 単価コード検索(<u>Q</u>)	Ctrl+F Ctrl+H	第 4号内訳表
17 🗆 🕥	直接工事費	 	工種コード検索(<u>W</u>)	Ctrl+M	
18 🗆 🕥	共通仮設費	n	切り取り(<u>T</u>) コピー(<u>C</u>)		
19 🗆 🕥	共通仮設費	Û	貼り付け(<u>P)</u> 削除(<u>D</u>)		
20 🗆 🕥	運搬費		丸め(<u>M</u>) 諸雑費行丸め(<u>Z</u>)		
21 🗖 🚞	運搬費		品組員(1) NO(Z)		第 27号内訳表

15		埋戻し 土砂	1	式	第 3号内訳表
16		埋戻し 十砂	1	式	第 4号内訳表
17	<u></u>	仮設材(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 運搬割増率=各種(実数入力);運搬割増率(実数入力)=0	526 2	t	92号代価表
18	<u></u>	仮設材の積込み取卸し費 作業区分=積込み取卸し(往復分);	263 1	t	93号代価表
19	Σ	直接工事費	1	式	
20	Σ	共通仮設費	1	式	
21	Σ	共通仮設費	1	式	

②取込された間接費の行をすべて削除します。

間接費行が始まる行をクリック、[Shift] キーを押しながら間接費行の1番下の行をクリックし、右クリックメニューの[削除]を選択します。

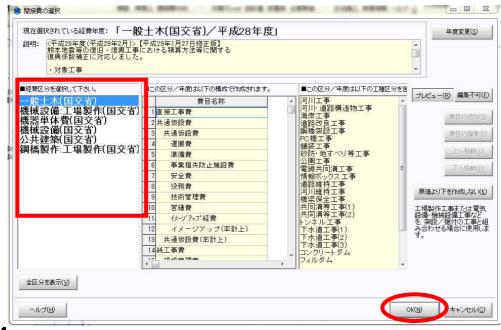


3. 間接費を作成する



間接費作成 より、1つ目の間接費を作成します。

「経費区分選択」欄(四角赤枠)にて、作成する経費区分を選択します。 右下[OK](丸赤枠)をクリックすると、間接費を作成して「本工事費内訳書」画面に戻ります。



4. 工事を移動する

手順1でまとめた付帯工事のフォルダを、間接費行の下に移動します。 行番号欄をクリックしたまま離さずに、工事費計の下までマウスを移動し、 クリックを離します。

31 🗖 🕥	工事価格	式	1	
32 🗖 🕥	3背費税相当額	九	1	
33 🗖 🕥	工事費計	式	1	
34 🗆 🛅	付帯工事	类	1	



ボタンをクリックし、付帯工事の下に間接費を作成します。

「間接費の選択」画面が表示されます。

「経費区分選択」欄(四角赤枠)にて、作成する経費区分を選択します。

左下「合算経費にする」(丸緑枠)を選択します。

右下 [OK] (丸赤枠) をクリックすると、間接費を作成して「本工事費内訳書」 画面に戻ります。

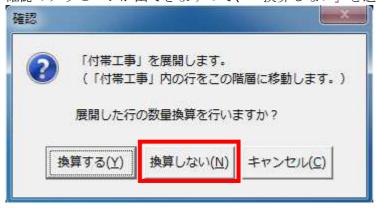


6. 表の展開

間接費を追加しましたら、表にまとめておいた付帯工事を、右クリック-表の展開を選択し、 展開します。



確認のメッセージが出てきますので、「換算しない」を選択します。



【共通仮設費積上げ分がある場合のみ】

例として運搬費の積上げを移動します。

手順2.で移動させた運搬費を、各共通仮設費積上げ分のフォルダに戻します。 本体工事(赤)の最後の行に貼り付けた共通仮設費積上げ分を選択し、

右クリック- [切り取り] を選択します。



付帯工事(黄)の下に追加した、間接費(緑)の運搬費のフォルダの中に貼りつけます。



運搬費のフォルダの中で右クリック・[貼り付け]を選択します。

		ä	重搬 費		5	号内	沢書	合計金額		
ŕ	付箋		名:	ト / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要	1
			単価(<u>K</u>)	• [
			工種(<u>S</u>)	•						
			積算大系(上)	·						
			表作成(<u>H</u>)	•						
			行作成(G)	·						
			コード入力(<u>F</u>)	Ctrl+F						
			単価コード検索(<u>Q</u>)	Ctrl+H						
			工種コード検索(<u>W</u>)	Ctrl+M						
		36	切り取り(<u>T</u>)							
			コピー(<u>C</u>)							
		Û	貼り付け(<u>P</u>)							
			削除(<u>D</u>)							

共通仮設費の移動は以上です。

	運搬費	5	号内	訳書	合計金額	
付箋	名称 / 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
1 🗆 🗀	仮設材(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 運搬割増率=各種(実数入力); 運搬割増率(実数入力)=0 無;	526 2	t			92号代価表
2 🗖 🧀	仮設材の積込み取卸し費 作業区分=積込み取卸し(往復分);	263 1	t			93号代価表

7. 経費計算を行う

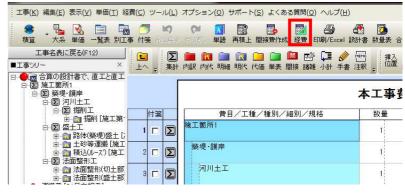
※直接工事費と、共通仮設費の積上げが終わった状態で、経費計算に進んでください。

「本工事費内訳書」画面にて 「経費]メニューの「経費計算]または

ツールバーの



|をクリックします。



「再積上げの処理選択」画面が表示されますので、設定内容を確認し[OK]をクリックします。

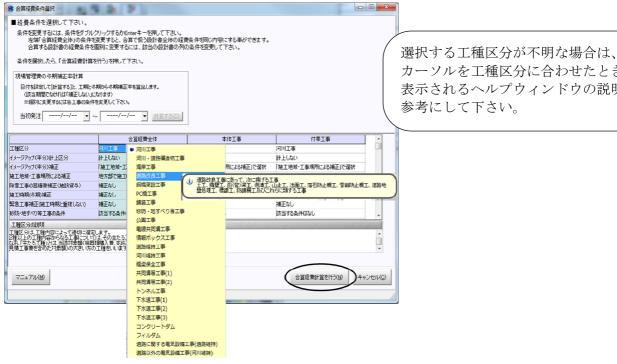


8. 経費条件を選択する

「条件の選択」画面が表示されます。経費の条件選択を行い、合算経費計算を行います。①の 「合算経費全体」の条件を変更すると各設計書の条件も連動します。

各設計書ごとに、個別に設定することもできますが、その場合も、「合算経費全体」の条件も 選択を行って下さい。

条件設定完了後、[合算経費計算を行う]より経費算出を行います。



カーソルを工種区分に合わせたときに 表示されるヘルプウィンドウの説明を 参考にして下さい。

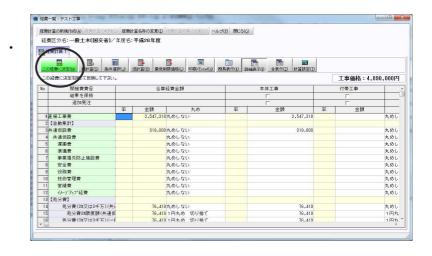
7. 経費一覧の確認

経費率 (共通仮設費率·現場管理費率等) 経費金額がそれぞれ自動計算され、 「経費一覧」画面が表示されます。

経費内容を確認し



をクリックします。



直接工事費が変更された場合は、ツールバーの



をクリックすると、経費を更新

ことができ、経費の条件や工種区分を変更したい場合等は、 経費の「補正内容」が再選択できます。



をクリックすると、

経費が決定され、「本工事費内訳書」画面が表示されて経費計算を終了します。